



- 1 住まいの中心となる2階のリビング・ダイニング・キッチン。天井が高く、空間を広く感じることができます。
- 2 「甲子園口の家」の外観。エントランス部分は、軒のある駐車スペースにもなっています。
- 3 1階のアトリエスペース。柳本さんの仕事スペースになっています。
- 4 3階のフリースペース。広々としたテーブルで、お子さまの勉強を奥さまが見てあげることも多いのだそう。
- 5 キッチン・ダイニングの壁面の収納は、竣工後に柳本さんが自ら作ったものどか。
- 6 限られたスペースを活かすため、浴槽が縦に配置された浴室。

狭小地という敷地特性を活かした
家族がつながる住まい

この「甲子園口の家」は、敷地面積がおおよそ25坪の狭小地という立地条件。「扉や廊下を極力なくし、限られた空間を最大限活用できるようにプランニング。また建物を規制ギリギリまで高くし、階高をできるだけとることで、空間が広く感じられるものとなっています」と、柳本さんは話します。

「家族の気配が感じられる住まいを創りたい」と考えていました。間仕切りをあまり設けないうことで、家族との一体感を持てる空間になりました。ただ、各部屋の密閉性がないうため、室内の快適性を保つためにはどうすればよいかという課題が出てき



1 ファサードが特徴的な外観をもつ住まい

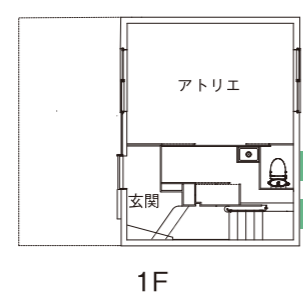
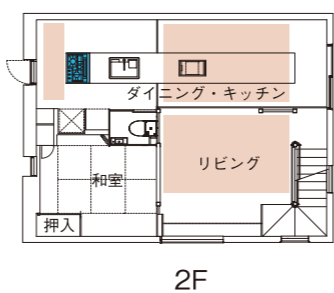
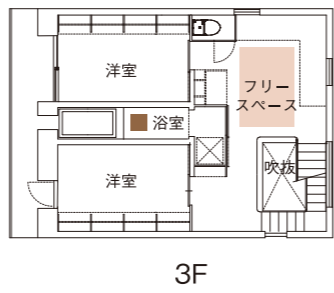
昭和の名残を留める駅前商店街を通り抜けた住宅地の一角に建つ「甲子園口の家」は、2・3階の二部が前面に突き出たような外観が特徴的な住まい。それぞれ形状の異なる開口が設けられた、ダークグレーの壁面は正面から見るとまるで地面から浮いているかのよう。ここは、Y's建築工房 一級建築士事務所の柳本 重明さんの自邸。

住まいのメインとなるのは、リビング・ダイニング・キッチンのある2階。コンパクトにまとめた空間は、天井が高いため、実際の大きさをより広く感じられます。このフロアで目を引くのが、大きな一枚板のテーブル。キッチン天板とダイニングテーブルがひと続きとなったこのテーブルは、料理好きな柳本さんのア



アイデアから生まれたもの。また、キッチンとダイニングはフロアレベルが変えられており、キッチンは作業がしやすいようにフロアからテーブルまでの高さを85cmに、ダイニングは椅子の高さを考慮して70cmに設定。キッチンに立つ機会の多い柳本さんならではの工夫がされています。

1階は、柳本さんのアトリエ。将来的にはセカンドオフィスとして活用できれば、と考えています。そして3階は、ご家族のプライベートスペースとフリースペース。このフリースペースには、テーブルが設けられており、お子さまが勉強をしたり、奥さまが仕事をしたりといった、ご家族みんなが使うことのできる共有空間になっています。



甲子園口の家 縮尺=1/200

- エネファーム
- カワック
- ヌック
- Siセンサーコンロ

- 導入ガス設備・システム
- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファーム
 - ・ガス温水床暖房 ヌック
 - ・ガス温水浴室暖房乾燥機 カワック
 - ・Siセンサーコンロ

- 甲子園口の家
- ・所在地/兵庫県西宮市
 - ・家族構成/ご夫婦+お子さま
 - ・敷地面積/80.27㎡
 - ・建築面積/48.01㎡
 - ・延床面積/141.21㎡
 - ・構造・規模/鉄骨造
 - ・地上3階+PH階
 - ・設計期間/2014年7月~2015年3月
 - ・施工期間/2015年4月~2015年12月



建築家
やなもと しげあき
柳本 重明さん

1966年和歌山県生まれ。1989年近畿大学理工学部建築学科卒業。1989~1993年出江寛建築事務所勤務。1994年Y's建築工房設立。2005年~大手前大学非常勤講師。

- ・連絡先: Y's建築工房 一級建築士事務所
- ・住所: 大阪市中央区安堂寺町1-2-17
- ・TEL: 06-6766-6377
- ・FAX: 06-6777-6378
- ・URL: http://ys-aa.com
- ・e-mail: ys@ys-aa.com